

はじめに

バイオマスは持続的に再生可能な資源であることから、エネルギー源又は製品の原材料として利用することは、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に大きく貢献するものです。

また、バイオマスを活用した新たな産業の発展、国際競争力の強化、及び、地域の活性化等の効果が期待されることから、その活用の推進に向け、平成22年12月に「バイオマス活用推進基本計画」が策定されました。

木質バイオマス資源に恵まれる中国地域においても、バイオマスのエネルギーやマテリアル利用による新事業が創出され、雇用の拡大に結びついている地域も生まれています。一方で、広範囲に薄く存在するバイオマスを効率的に利用する仕組みの構築に至らず、経済性が確保できないため、事業化が進まない事例も見られます。

中国経済産業局では、平成22年度からケミカル及びマテリアルといったバイオマスの高付加価値利用に取り組む企業の支援を行っております。バイオマス由来製品はユーザー側での需要が高まっているものの、従来の石油等輸入原料を用いた産業と異なり、木や竹といった資源を量・品質・価格等の安定した原料として供給するために、一次加工を行う川中産業を創出していくことが課題となっています。

本事例集では中国地域を中心としたバイオマスの新たな高付加価値活用に取り組む企業や関連の技術開発を行っている研究者・専門家を対象に読み物形式でまとめました。「企業物語」「人の物語」として関心を持っていただけるように努め、地域のバイオマス関連技術・製品や多様な連携の状況、研究者からみた事業可能性、及び、企業の人材ニーズなどを掲載いたしました。

多くの事例において、バイオマスを扱うことにより地域の基幹産業である農林水産業等との関連が深まり、地域の現状や将来に対して企業活動等が与える影響をダイレクトに感じておられます。バイオマスは地域内で有効に活用することも必要ですが、食品や伝統技術といった他の地域資源と同様に現在のライフスタイルに合う形で経済的価値を高め、より高く買ってもらえる製品を作り出すことも企業にとって重要な役割です。

その際には、ニーズに立脚したゴールを明確に定めた上での課題解消のための研究開発等を通じて、木や竹が持つ本来の性質を活かしながら、また、カーボンニュートラルという理屈を抜きにしても優位性を持つ、独自の製品を創り出すことが求められています。

本書の事例を参考としていただき、地域の関係者の連携・協力による新たな取り組みにより、国内の貴重な資源である木質バイオマスが有効に活用され、競争力を有する新産業が生まれ、活性化に繋がるとともに、低炭素・循環型の社会システム構築に寄与することができれば幸甚に存じます。

平成23年3月

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課